



今尾の子



令和5年度 えのき通信

海津市立今尾小学校だより

令和6年2月29日

いよいよ最終月に突入です！

学校の周りを歩いていると、

風のおいの変化や木々のつぼみの膨らみを見つけることができます。春の足音がもうそこまで聞こえてきています。本年度もあと一ヶ月となり、三月二十一日（木）卒業式、二十二日（金）修了式を迎えます。特に六年生の卒業生三十二名は、今尾小を巣立ち、平田中学校へ進学します。六年間の小学校課程を修了し、巣立つ卒業生の皆さんは、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染予防対策をしながら困難を乗り越えてきました。できることややすべきことを見極めながら自分たちの願いを大切にして、最小学年として模範の姿を見せてきています。物事の仕上げをするとき「有終の美を飾る」ということがよく言われます。卒業生、在校生共にこの一ヶ月間は、しっかりと今年度のまとめを行っていきます。「有終の美」とは、物事の終わりに際してやり遂げる中で、今まで以上に力を増すという意味があります。まさに、総仕上げの頑張りが求められます。また、終わるといふことは、できたこと、できなかったことをしっかりと確認し、次に進むということでもあります。本校の教育活動につきまして、保護者や地域、関係者の皆様には、ご理解とご支援をいただき、感謝申し上げます。学校は、子どもたちにとって大きな学びの場です。一年の締めくくりに向け、教職員一同、より一層努力してまいります。三月の最終月もよろしくお願いたします。



海津市社会福祉大会で見事な発表！

二月三日（土）にOCT文化センターで開催された海津市社会福祉大会で、四年生の代表児童四名（河合奏音さん・河合巧橙さん・中俣藍花さん・森ひびきさん）が、学校を代表して、異年齢交流など全校の取組や地域交流などの各学年の取組、四年生が中心となって取り組んだ海津特別支援学校との交流について発表してくれました。

元氣よく堂々と発表する姿もすばらしかったのですが、発表の内容が見事でした。どんな遊びをしたのかという概略と動機の説明に加え、最後に感想とまとめを述べる構成で作られており、小学校が福祉大会で発表する意味が来場者に分かりやすく伝わったと思います。様々な場面で、成長した子どもたちの姿に出会えることをとてもうれしく思います。



海薬物乱用防止教室の開催！



薬物乱用の危害に対する正しい知識の普及啓発を推進することで、児童が薬物乱用の現状や心身への弊害等を身近な問題と捉え、薬物の誘惑に対する対処法を身に付けることを目的として、二月六日（火）に六年生を対象で、学校薬剤師の児玉 豊様を講師に招いて開催しました。「一回だけなら大丈夫ではないか」、「すぐにやめれるので

はないか」、「自分は大丈夫」といった甘い認識を覆す機会とすることができました。その場の雰囲気等に流されてしまうのではなく、しっかりと「NO!」と言う勇気を持ち、自分自身を大切にするための意思の強さをもたなければいけないことを学びました。



音楽隊の見事な演奏でした！

二月二十二日（木）に、交通安全閉校式が行われました。地域の方々の会でしたが、岐阜県警察の音楽隊が演奏されることから、演奏会から参加させていただきました。「勇気100%」など、児童が知っている曲やアンコール曲を含めて、八曲演奏していただきました。参加した児童は、手拍子をするなど、楽しいひとときを過ごしました。今後も登下校等、交通安全に気を付けることを再確認することができました。



感染症拡大の警戒について



学校でも、基本的な感染予防対策である「手洗い・うがい」「換気」等の指導を続けておりますが、ご家庭におかれましても、引き続き感染症拡大防止への対策をよろしくお願いたします。（高橋 崇敏）